

2年次後期・必修

1単位・30時間

【概要・目標】

我が国において、医療の発展などにより高齢者と障害者の数が増え、臓器別医療に偏らない障害医学の視点に立った医療需要が増えています。リハビリテーション（リハ）医学はその障害医学を包括し、患者の「能力」「活動性」を向上し、ひいては生活の質を改善する事を目的とします。実際の看護でもリハの重要度が増えているので、その理解が重要となっています。講義を通じてリハの具体的な手法を学び、看護への応用を理解してもらいます。

【授業内容のスケジュール】

- 1) 総論（障害学）
- 2) 運動生理学
- 3) 急性期リハビリテーションの意義
- 4) 内部障害（循環・呼吸・腎・免疫）
- 5) 安静臥床の弊害と運動の意義
- 6) 理学療法
- 7) 作業療法
- 8) 言語療法と高次脳機能障害
- 9) 2次的障害の予防（褥瘡、拘縮、静脈血栓など）
- 10) 嚥下（摂食）、排泄、移動とFIM
- 11) 中枢性疾患（脳血管障害、脳性麻痺）
- 12) 運動器疾患（筋・神経疾患、骨関節疾患）
- 13) 看護とリハビリテーション1
- 14) 看護とリハビリテーション2

【評価】

筆記試験

【教科書】

久保俊一、田島文博編集「イラストと写真でわかる実践装具療法-装具の選択と疾患別使用例」
公益社団法人日本リハビリテーション医学会編集「リハビリテーション医学・医療 コアテキスト」医学書院 2018

【推薦参考図書】

上田敏、千野直一、大川嗣雄編「リハビリテーション基礎医学」医学書院 1994

【その他】